会報
日本食品化学学会 2019 年度第 1 回理事会議事録

日 時： 2019年3月16日（土）13:00～16:00
場 所： 大阪ガーデンパレス2階 楓（大阪市淀川区西宮原1-3-35）
出席： 今井田克己、合田幸広、山崎裕康、樫山浩、井上健夫、小川久美子、奥村克雄、小関良宏、
日下部哲也、手嶋玲子、中江大、中村宗一郎、松浦寿喜、鶴沢英機、江村英雄、井之上浩一、
尾崎麻子（以上17名）
欠 席： なし

【議 案】
1. 2019年度第25回総会・学術大会について
2. 2018年度事業報告書案および決算報告書案の作成（総会提出議案）
3. 2019年度事業計画書案および収支予算書案の作成（総会提出議案）
4. 第21回奨励賞受賞者の決定
5. 第14回論文賞受賞者の決定
6. 日食化誌の予定と進捗の報告
7. 名誉会員の推薦（総会提出議案）
8. 評議員会提出議案について
9. 次期（2021年度）学会長の総会への推薦（総会提出議案）
10. 2020年度シンポジウム専門担当理事の選任
11. 次期理事長候補、次期副理事長候補について（総会提出議案）
12. 次期理事・監事候補および役割分担について（総会提出議案）
13. 学術著作権協会への転載許諾事業委託について
14. その他（その他の総会提出議案、本会の運営に関すること）
1. 2019年度第25回総会・学術大会について
中村理事より第25回総会・学術大会の内容および準備状況について説明があった。

(1) 第25回総会・学術大会の開催
学 会 長： 中村宗一郎（信州大学 理事・副学長）
日 時： 2019年6月6日（木）～6月7日（金）
場 所： キッセイ文化ホール（長野県松本市水汲69-2）

学会長講演：「食と健康」
中村宗一郎（信州大学 理事・副学長）

招待講演①：「味噌中の磁鉄ペルメチドの構造と機能」
佐藤健司（京都大学 農学研究科応用生物科学専攻 海洋生物生産学講座 教授）

招待講演②：「食品成分の腸管吸収動態」
松井利郎（九州大学 農学研究科生命機能科学部門 食料化学工学講座 教授）

招待講演③：「運動+栄養摂取の相乗効果～その背景と効果のエピデンシー」
増木静江（信州大学 先端領域融合研究群バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門 教授）

特別講演：「食品安全行政の現状と課題（仮）」
吉田易範（厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課長）

奨励賞受賞者講演：
一般発表：口頭およびポスター（演題募集）
関連行事：①若手優秀発表賞、②交流会（6/6、ホテルブエナビスタ）、③企業展示（募集中）、④ランチョンセミナー（2社受付済）
参 加 費：学術大会 会員4,000円、非会員6,000円、学生1,000円
交流会（予定）事前申込7,000円、当日申込9,000円、学生3,000円

(2) 第25回総会・学術大会実行委員（27名）の承認
学術大会運営の為、下記27名の実行委員の推薦があり、承認された。

中村宗一郎（大会長）（信州大学）
植村健（信州大学）
友竹浩之（飯田女子短期大学）
荒川幸彦（長野県工業技術総合センター）
栄克宏（伊那食品工業株式会社）
秋場高司（アサヒグループ食品株式会社）
古賀保進（サントリーMONOZUKURIエキスパート株式会社）
金城輝則（アジェレント・テクノロジー株式会社）
井口えい子（ジーエルサイエンス株式会社）
四柳雄一（株式会社島津製作所）
北川千花（林純薬工業株式会社）
今立恵美（株式会社食品化学新聞社）
中川誠（三栄源エフ・エフ・アイ株式会社）
唐澤幸司（伊那食品工業株式会社）

中野茂（実行委員長）（信州大学）
廣田直子（松本大学）
小本孝（古田加奈（長野県立大学）
山中仁木（信州大学）
佐久間義則（日本食品分析センター）
荒井祥（株式会社ウエハロードテクノ）
瀬川義澄（アジェレント・テクノロジー株式会社）
古庄義明（ジーエルサイエンス株式会社）
植田泰輔（シンマールドリッチジャパン合同会社）
原田修一（林純薬工業株式会社）
水井浩司（富士フィルム光薬工業株式会社）
清水亮（日本食品添加物協会）
森本隆司（三栄源エフ・エフ・アイ株式会社）

2. 2018年度事業報告書案および決算報告書案の作成（総会提出議案）
下記の内容で総会への提交が承認された。

(1) 第24回総会・学術大会の記録
学 会 長： 中江大（東京農業大学応用生物科学部 教授）
日 時： 2018年5月17日（木）～5月18日（金）
場 所： 東京ビックサイト（東京都江東区有明3-11-1）
学会長講演：「生活習慣病とがん：食事組成の変化による動物モデル」
中江 大（東京農業大学応用生物科学部 教授）
特別講演 (1)：「食品のリスク評価と食品安全委員会」
吉田 易範（内閣府食品安全委員会事務局評価第一課長）
特別講演 (2)：「Glucose-releasing Rate (GR): an in vitro method designed to predict glycemic index values of foods and meals」
佐々木 一（神奈川工科大学応用バイオ科学部栄養生命科学科 教授）
特別講演 (3)：「食品安全行政の現状と課題」
関野 秀人（厚生労働省医薬・生活衛生局食品基準審査課長）
特別講演 (4)：「森林資源の有効利用－キノコの機能性と人工栽培を通じて－」
江口 保子（東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科 教授）
奨励賞受賞者講演：
「二枚貝をはじめとした各種食品中呈味成分の食品化学的研究」
斎藤 直（北岡 千佳（慶応大学医学部環境科学部食品生命科学科 助教授）
「農業物を基質とする健康食品の品質評価に関する研究」
政田 さやか（国立医薬品食品衛生研究所生業部 主任研究官）
一般発表：
（口頭）16件、（ポスター）39件
参加者数：258名（内訳：会員126名、非会員73名、学生19名、来賓13名、スタッフ等27名）
関連行事：
① 評議員会
② 若手優秀発表賞
・口頭発表部門
A-3 「Single Reference HPLC 法によるセサモール、セサミン、エピセサミン、セサモリンの一同分析法の検討」
高橋 未来（立命館大学大学院薬学研究科）
A-6 「高水溶性非選択的クルクミンの開発と水溶性向上機構の解析」
長野 一也（大阪大学大学院薬学研究科）
・ポスター発表
B-1 「シクロデキストリンの添加がクルクミン/ポリビシルピロピロド複合体の安定性に与える影響」
君波 亜紀（大阪薬科大学製剤設計学研究室）
B-9 「フェルラ酸アルコールの BDNF 産生促進作用と Caco-2 細胞透過性」
松本 奈津子（信州大学大学院総合理工学研究科農学専攻）
B-21 「α-リノレン酸ジアルギルセロールの安全性に関する検討」
武士田 義人（花王株式会社安全性科学研究所）
③ 交流会（5月17日18:00 ～ 参加者数94名）
④ ランチョンセミナー2件
⑤ 企業展示12件
参加費：学術大会 会員4,000 円、非会員6,000 円、学生1,000 円
交流会 事前申込6,000 円、当日申込8,000 円、学生2,000 円

（2）iFIA JAPAN 2018 食の安全・科学フォーラム 第17回セミナー＆国際シンポジウムの開催
テーマ：東京オリンピック・パラリンピックに向けた食品のトータルな安全管理
Mission of Food Safety for TOKYO 2020
主催：日本食品化学学会、日本食品微生物学会、日本食品衛生学会
共催：JETRO、食品産業センター、日本食品衛生協会、食品化学新聞社
日時：2018年5月16日（水）10時00分 ～ 16時50分（受付開始9時30分）
場所：東京ビッグサイト 会議棟6階 605・606
演題及び講師：
第一部 ワードデロ対策の国際動向
「米国食品安全強化法（FSMA）に対応した食品防護計画構築に向けた、脆弱性評価事例の紹介」
江藤 憲（NPO 法人バイオメディカルサイエンス研究会）
「我が国の食品防護の取組」
山野 淳一（農林水産省 消費・安全局）
「ロンドン 2012 での食品安全について」
ジェニー・キリス(英国食品基準庁)

第二部 オリンピック・パラリンピックを見据えた現場の食品安全対策
「HACCP 制度化の動向と日本食品衛生協会の取組」
桑崎 俊昭(公益社団法人 日本食品衛生協会)
「小売業における食品安全対策について」
岸 克樹(イオンリテール株式会社)
「マルハニチログループのフードディフェンスの取り組み」
中原 千秋(マルハニチロ株式会社)
「食中毒事例での発生要因解析から見える食中毒防止対策」
工藤 由起子(国立医薬品食品衛生研究所)

参加者: 98名
参加費: 前売り一般全日 14,000 円、前売り一般半日 8,000 円、
前売り会員全日 9,500 円、前売り会員半日 6,000 円、
当日 18,000 円

(3) 第 34 回食品化学シンポジウムの開催
担当理事: 井上 健夫(三楽製エフ・エフ・アイ株式会社)
テーマ: 食品行政をめぐる諸課題とその動向について
日時: 2018 年 11 月 1 日(木) 13:15 〜 17:00
場所: 日本薬学会長井記念ホール(渋谷区渋谷 2-12-15)
講演(1) 新規評価方法の食品安全への導入
(前) 内閣府食品安全委員会委員 畠山 康
講演(2) 「健康食品」の安全性確保の取組について
厚生労働省医薬・生活衛生局食品基準審査課 関西保健対策室長 森田 剛史
講演(3) 食品添加物のリスク評価について
東京農業大学応用生物科学部食品安全科学教授 中江 大
講演(4) 器具・容器包装の PL 化について
国立医薬品食衛研究所添加物研究室室長 六鹿 元雄
講演(5) 食品表示の現状と課題
消費者庁品表示企画課 赤崎 憲彦
講演(6) 農林水産物・食品の輸出について～現状と展望～
農林水産省食産業局輸出促進課長 横島 直彦
参加者数: 104 名(会員 58 名、非会員 26 名、学生 1 名、招待・報道 8 名、主催者 5 名、講演者 6 名)
会費: 日本食品化学学会会員/個人・法人会員 3,000 円、非会員 5,000 円、学生・無料

(4) 日本食品化学学会誌 第 25 巻の発行
第 25 巻 1 号の発行 発行日: 2018 年 4 月 26 日 発行部数: 950 部
論文 5 編 ノート 3 編 総 頁 数: 88 頁
第 25 巻 2 号の発行 発行日: 2018 年 8 月 27 日 発行部数: 950 部
論文 4 編 ノート 3 編 総 頁 数: 78 頁
第 25 巻 3 号の発行 発行日: 2018 年 12 月 21 日 発行部数: 950 部
論文 7 編 ノート 1 編 総 頁 数: 80 頁

(5) 理事会及び各種委員会の開催
理事会: 2 回(書面理事会 1 回)、評議員会: 1 回、編集委員会: 1 回

(6) 会員数
2018 年 12 月 31 日現在: 個人会員 587 名、法人会員 65 法人、名誉会員 18 名
(7) 2018年度決算報告書案の作成

### 2018年度決算報告書（案）

(2018年1月1日～2018年12月31日)

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>予算金額</th>
<th>決算金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>会費（個人）</td>
<td>1,887,000 円</td>
<td>1,701,000 円</td>
</tr>
<tr>
<td>会費（法人）</td>
<td>2,490,000 円</td>
<td>2,400,000 円</td>
</tr>
<tr>
<td>会費（助成）</td>
<td>0 円</td>
<td>0 円</td>
</tr>
<tr>
<td>投稿料</td>
<td>600,000 円</td>
<td>746,000 円</td>
</tr>
<tr>
<td>広告料</td>
<td>900,000 円</td>
<td>1,010,000 円</td>
</tr>
<tr>
<td>雑収入</td>
<td>150,000 円</td>
<td>245,395 円</td>
</tr>
<tr>
<td>(収入)</td>
<td>(6,027,000 円)</td>
<td>(6,102,395 円)</td>
</tr>
<tr>
<td>前期繰越金</td>
<td>3,903,018 円</td>
<td>3,903,018 円</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>9,930,018 円</td>
<td>10,005,413 円</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>予算金額</th>
<th>決算金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>学術雑誌発行費</td>
<td>3,300,000 円</td>
<td>3,678,808 円</td>
</tr>
<tr>
<td>学術大会費</td>
<td>400,000 円</td>
<td>661,940 円</td>
</tr>
<tr>
<td>シンポジウム費</td>
<td>200,000 円</td>
<td>166,497 円</td>
</tr>
<tr>
<td>表彰費</td>
<td>380,000 円</td>
<td>380,696 円</td>
</tr>
<tr>
<td>会議費</td>
<td>250,000 円</td>
<td>151,469 円</td>
</tr>
<tr>
<td>オープニング運営費</td>
<td>160,000 円</td>
<td>149,856 円</td>
</tr>
<tr>
<td>旅費・交通費</td>
<td>500,000 円</td>
<td>322,000 円</td>
</tr>
<tr>
<td>賃借料</td>
<td>0 円</td>
<td>0 円</td>
</tr>
<tr>
<td>印刷費</td>
<td>90,000 円</td>
<td>116,014 円</td>
</tr>
<tr>
<td>郵送費</td>
<td>500,000 円</td>
<td>446,868 円</td>
</tr>
<tr>
<td>振替手数料</td>
<td>80,000 円</td>
<td>73,896 円</td>
</tr>
<tr>
<td>事務費</td>
<td>200,000 円</td>
<td>114,435 円</td>
</tr>
<tr>
<td>予備費</td>
<td>50,000 円</td>
<td>0 円</td>
</tr>
<tr>
<td>(支出)</td>
<td>(6,110,000 円)</td>
<td>(6,262,479 円)</td>
</tr>
<tr>
<td>次期繰越金</td>
<td>3,820,018 円</td>
<td>3,742,934 円</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>9,930,018 円</td>
<td>10,005,413 円</td>
</tr>
</tbody>
</table>

2019年2月7日

事務局長 山崎 裕

--------------------------

会計監査報告

上記の決算書を承認するとともに、会議に徴って適正に執行されたと認めます。

2019年2月27日

監事 井之上 浩

尾崎 麻子
3. 2019年度事業計画書案および収支予算書案の作成（総会提出議案）
下記の内容で総会への提出が承認された。

3-1. 事業計画書案

（1）第25回総会・学術大会の開催
学会長：中村宗一郎（信州大学 理事・副学長）
日時：2019年6月6日（木）～6月7日（金）
場所：キッセイ文化ホール（長野県松本市水渓69-2）
学会長講演：「食と健康」
中村宗一郎（信州大学 理事・副学長）
招待講演1：「味噌中の短鎖ベプチドの構造と機能」
佐藤健司（京都大学 農学研究科応用生物科学専攻 海洋生物資源学講座 教授）
招待講演2：「食品成分の腸管吸収動態」
松井利郎（九州大学 農学研究院生命機能科学部門 食料化学工学講座 教授）
招待講演3：「運動+栄養摂取の相乗効果－その背景と効果のエビデンス－」
増本静江（信州大学 先端領域融合研究群バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門 教授）
特別講演：「食品安全行政の現状と課題（仮）」
吉田易厳（厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課長）
奨励賞受賞者講演：
一般発表：
関連行進：①若手優秀発表賞、②交流会（6/6、ホテルブリカステラ）、③企業展示（集団）、④ランチョンセミナー（2社受付済）
参加費：学術大会 会員4,000円、非会員6,000円、学生1,000円
交流会（予定） 事前申込7,000円、当日申込9,000円、学生3,000円

（2）第35回食品化学シンポジウムの開催
担当理事：鶴沼理事
テーマ：キーワード案／酸化ストレス、食品表示など
日時：2019年11月8日（金）
場所：日本薬学会長井記念ホール（渋谷区渋谷2-12-15）
定員：150名程度
会費：会員3,000円、非会員5,000円（予定）

（3）iifia JAPAN 2019 食の安全・科学フォーラム 第18回セミナー&国際シンポジウム
テーマ：食品安全規格の国際整合性と野菜の衛生管理
Global Harmonization of Food Safety & Hygiene Management of Vegetables
主催：日本食品化学学会、日本食品微生物学会、日本食品衛生学講
共催：ILSI、JETRO、食品産業センター、日本食品衛生協会、食品化学新聞社
日時：2019年5月22日（水）10時00分～16時50分（受付開始9時30分）
場所：東京ビッグサイト 青海展示会場内
定員：150名
演題及び講師：
第一部 食品の安全管理の国際動向
「台湾の食品安全規制の現状について（仮）」
陳俊榮（台北駐日経済文化代表処科学技术部部長・台北医科大学教授）
「対米・対EU輸出肉類認定制度について」
厚生労働省
「食品のリスク評価とその国際整合性」
川西徹（食品安全委員会）
第二部 野菜の衛生管理
「野菜の汚染実態と食中毒の防止」
森哲也（一財財団法人・東京顕微鏡院）
「洗浄・殺菌に係わる近年指定された食品添加物 (仮)」
久保田 浩樹 (国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部)
「野菜の汚染・殺菌の最新技術と次亜塩素酸の効果的な使用方法」
福崎 智司 (三重大学 大学院生物資源学研究科教授)
「カット野菜の安全性と製造管理 (仮)」
宮下 隆 (ケイユーピー株式会社)

(4) 日本食品化学学会誌 第26冊の発刊
第26 巻 1 号 2019年 4月発刊予定
第26 巻 2 号 2019年 8月発刊予定
第26 巻 3 号 2019年 12月発刊予定

(5) 理事会および各種委員会の開催
理事会：1回 評議員会：1回 編集委員会：1回

3.2. 収支予算書案

(1) 2019年度収支予算書案の作成（総会提出議案）
(2019年1月1日～2019年12月31日)

<table>
<thead>
<tr>
<th>収 入</th>
<th>項目</th>
<th>単価</th>
<th>予算金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>個人会員 (584 名)</td>
<td>¥3,000</td>
<td>¥1,752,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>個人会員 (謝納分)</td>
<td>¥3,000</td>
<td>¥213,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>法人会員 (65 社 81 口)</td>
<td>¥30,000</td>
<td>¥2,430,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>法人会員 (謝納分)</td>
<td>¥30,000</td>
<td>¥30,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>賛助会員 (0 社)</td>
<td>¥30,000</td>
<td>¥0</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>投稿料</td>
<td></td>
<td>¥740,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>広告料</td>
<td></td>
<td>¥1,000,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>雑収入</td>
<td></td>
<td>¥230,000</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（収入） | ¥6,395,000 |
前期繰越 | ¥3,742,934 |
合計 | ¥10,137,934 |

<table>
<thead>
<tr>
<th>支 出</th>
<th>項目</th>
<th>数</th>
<th>予算金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>学術雑誌発行費</td>
<td>3</td>
<td>¥3,500,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>学術大会費</td>
<td>1</td>
<td>¥400,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>シンポジウム費</td>
<td>1</td>
<td>¥200,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>表彰費</td>
<td></td>
<td>¥380,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>会議費</td>
<td></td>
<td>¥250,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ホームページ費</td>
<td></td>
<td>¥160,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>旅費・交通費</td>
<td></td>
<td>¥400,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>印刷費</td>
<td></td>
<td>¥120,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>郵送費</td>
<td></td>
<td>¥450,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>振替手数料</td>
<td></td>
<td>¥80,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>事務費</td>
<td></td>
<td>¥200,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>予備費</td>
<td></td>
<td>¥30,000</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（支出） | ¥6,170,000 |
次期繰越金 | ¥3,967,934 |
合計 | ¥10,137,934 |

4. 第21回奨励賞受賞者の決定
選考の結果、以下の2名に奨励賞を授与することが決定された（五十音順）。
● 優秀賞：田村 健子
研究課題：トランスクリプトーム解析を利用した、食材の機能性と品質に関わる遺伝子群の探索
● 優秀賞：增本 高子
研究課題：健康食品及びその素材の品質確保に関する研究
5. 第14回論文賞受賞者の決定

合田編集委員長より編集委員から推薦された候補について説明がなされ、選考の結果、第14回論文賞として、下記論文に授与することが決定された（学会誌掲載順）。

- 「Effect of sodium carboxymethyl cellulose in processed rice foods on detection of genetically modified rice-derived DNA」
  Kiyoko Nakanishi, Uki Fujii, Takashi Ohtsuki, Shinya Kimata, Keisuke Soga, Masahiro Kishine, Junichi Mano, Reona Takabatake, Kazumi Kitta, Kiyomi Ohmori, Hiroshi Kawakami, Hiroshi Akiyama, Megumi Ikeda, Kosuke Nakamura, Kazunari Kondo
  Vol.25(2), 77-85(2018)

- 「Identifying the origin plant of starches by numerical description of the coloration of iodine-starch reaction solutions」
  Tamaki Miyazaki, Yukio Aso, Yoshihiro Goda

合田編集委員長より推薦文賞について株式会社鳥津製作所から申請があり、編集委員からの候補について説明がなされ、下記論文に授与することが決定された。

- 「Inhibitory effect of black ginger (Kaempferia parviflora) constituents on nitric oxide production」
  Hiroyuki Fuchino, Nanami Fukui, Osamu Iida, Hiroshi Wada, Nobuo Kawahara

6. 日食化誌の予定と進捗の報告

合田編集委員長より投稿および審査状況は順調であることが報告された。

7. 名誉会員の推薦（総会提出議案）

2019年度の該当者はなかった。

8. 評議員会提出議案について

議案として、以下の議案を提出することとなった。
(1) 本会の会務・事業等に関する意見など

9. 次々期（2021年度）学会長の総会への推薦（総会提出議案）

次々期学会長として、小川理事を推薦することが承認された。

10. 2020年度シンポジウム専門担当理事の選任

日下部理事が2020年度シンポジウム担当理事に選任された。

11. 次期理事長候補、次期副理事長候補について（総会提出議案）

次期理事長候補として小間理事を候補とすることが会議により決定された。
次期副理事長候補について、合田副理事長、近村理事が指名された。
12. 次期理事・監事候補および役割分担について（総会提出議案）

理事会より以下の候補者が推薦された。

（任期：2020年1月1日～2021年12月31日）

<table>
<thead>
<tr>
<th>役職</th>
<th>氏名</th>
<th>役割分担</th>
<th>所属・役職</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>理事長</td>
<td>小関 良宏</td>
<td>東京農工大学工学部生命工学科教授</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>副理事長</td>
<td>合田 幸宏</td>
<td>国立医薬品食品衛生研究所副所長</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>副理事長</td>
<td>辻村 英雄</td>
<td>サントリー食品インターナショナル株式会社取締役副社長</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>理事</td>
<td>麥山 洋</td>
<td>副編集委員長</td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>理事</td>
<td>井之上 一成</td>
<td>事務局長</td>
</tr>
<tr>
<td>6.</td>
<td>理事</td>
<td>井上 健夫</td>
<td>三栄酵母エフ・エフ・アイ株式会社取締役常務執行役員</td>
</tr>
<tr>
<td>7.</td>
<td>理事</td>
<td>小川 久美子</td>
<td>2021年度学会長</td>
</tr>
<tr>
<td>8.</td>
<td>理事</td>
<td>奥村 克純</td>
<td>三重大学大学院生物資源学研究科教授</td>
</tr>
<tr>
<td>9.</td>
<td>理事</td>
<td>日下部 哲也</td>
<td>2020年度シンポジウム担当</td>
</tr>
<tr>
<td>10.</td>
<td>理事</td>
<td>佐藤 恭子</td>
<td>国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部部員</td>
</tr>
<tr>
<td>11.</td>
<td>理事</td>
<td>中江 大</td>
<td>東京農業大学応用生物科学部教授</td>
</tr>
<tr>
<td>12.</td>
<td>理事</td>
<td>松浦 寿喜</td>
<td>武庫川女子大学生涯環境学部教授</td>
</tr>
<tr>
<td>13.</td>
<td>理事</td>
<td>矢野 竹男</td>
<td>三重大学大学院 地域イノベーション学研究科教授</td>
</tr>
<tr>
<td>14.</td>
<td>理事</td>
<td>良永 裕子</td>
<td>増本大学 生命・環境科学部教授</td>
</tr>
<tr>
<td>15.</td>
<td>理事</td>
<td>鶴田 英夫</td>
<td>大阪市立大学大学院医学研究科教授</td>
</tr>
<tr>
<td>1.</td>
<td>監事</td>
<td>伊藤 美千穂</td>
<td>京都大学大学院 薬学研究科准教授</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>監事</td>
<td>尾崎 麻子</td>
<td>大阪健康安全基盤研究所衛生化学部主幹研究員</td>
</tr>
</tbody>
</table>
13. 学術著作権協会への転載許諾事業委託について

稲山理事より以下の報告がなされ、承認された。
・学術著作権協会に転載許諾事業を委託した事（開始日：2019年4月1日）
・営利目的での無断転載は無料とすること

14. その他（その他の総会提出議案、本会の運営に関すること）

* 学会誌の学術情報データベース（EBSCOhost）収録について
EBSCOよりデータベースへの収録依頼があった。
・依頼について協議し、現在、J-STAGEにて既に公開している部分については公開とする。
・非公開部分については編集委員会にて検討の上、EBSCOhostにて公開するかを決定する。

以上